



基本構想

愛媛県総合教育センターの研究の目的

学校教育に関する専門的、技術的事項の調査・研究を行うとともに、その成果を調査・研究発表会や研修講座等を通じて教職員に還元することによって、学校教育の改善に資する。

1 研究主題

「未来を切り拓く力を育む学校教育への総合的な支援」

2 研究主題設定の理由

急速な少子高齢化やグローバル化の進展、情報通信技術や人工知能の発達などにより、社会構造や価値観は大きく変化している。このような予測困難な時代において、学校教育には、児童生徒一人一人が主体的に学び、他者と協働しながら課題を解決し、新たな価値を創造する力を育成することが強く求められている。そのためには、教職員が専門性を高め続け、教育実践の質を不断に向上させていくことが不可欠である。

中央教育審議会においては、教職生涯を通じて学び続ける教師像の確立と、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることの重要性が示されている。教師には、ICTを活用した授業改善、理論と実践を往還する探究的な学び、児童生徒一人一人に寄り添った教育相談、特別支援教育の視点を踏まえた組織的な支援体制づくりなど、多面的で高度な資質・能力が求められている。さらに、働き方改革の推進や校務の効率化が進む中であっても、教育の質を維持・向上させるためには、限られた時間の中で効果的に学び続ける仕組みの構築が重要である。

令和6年3月に策定された「第3期愛媛県教育振興に関する大綱～愛顔あふれる「教育立県」えひめの実現～」においては、変化の激しい社会を生き抜く力の育成や、誰一人取り残さない教育の実現、教職員の資質・能力の向上、学校・家庭・地域が連携した教育の推進などが、重要な施策の柱として示されている。とりわけ、主体的に学び続ける教職員の育成や、ICTの効果的活用による学びの質の向上、児童生徒一人一人の多様なニーズに応じた支援体制の充実が、今後の本県教育の発展において不可欠な視点である。

また、大綱では、学校現場の実態を踏まえたきめ細かな支援の充実や、組織的・継続的な人材育成の重要性が示されており、教育の質の向上を県全体で支える体制づくりが求められている。これらの方針は、授業改善の推進、教育相談体制の充実、特別支援教育の充実、校内研修の活性化など、学校教育のあらゆる側面において一体的に推進されることが必要であることを示している。

一方で、教育課題の複雑化・多様化が進む中、各施策や取組を個別に進めるだけでは十分な成果を上げることは難しく、分野横断的な視点に立った総合的な支援の在り方が求められている。県の教育施策と学校現場の実践とを有機的に結び付け、持続可能な教育環境を構築していくことが、今後ますます重要な課題となっている。

そこで、本センターでは、各室の研究成果を基盤とし、学校現場の実態やニーズに即した支援の充実を図ることとした。これにより、教職員が互いに学び合い、高め合いながら専門性を発揮できる環境を整備し、児童生徒の確かな学びと健やかな成長を支える学校づくりを実現することを目指している。以上の理由から、「未来を切り拓く力を育む学校教育への総合的な支援」を研究主題として設定し、本研究に取り組むものである。

3 研究の内容

(1) 2年次研究

1年次の成果と課題を踏まえ、教師の主体的な学びの深化と授業力の向上及び個別最適な学びを支える校内支援体制の充実を図ることを目的として、各室が研究を推進した。

情報教育室では、目標設定と振り返りを重視した研修プランを基に、教師の主体的な学びをより一層促進する研修の充実に取り組んだ。研修においては、個人目標の明確化、実践と結び付けたICT活用の工夫、リフレクションを通じた省察の深化を図り、授業改善につながる学びの定着を目指した。その結果、教師が自らの課題意識に基づいて学びを継続する姿勢が高まり、ICT活用スキルと授業力の向上に結び付いた。

教科教育室では、理論と実践の往還を重視した伴走型支援を継続し、「見方・考え方」を働かせる授業づくりや汎用的知識・概念の形成を中心に支援を行った。指導主事が研修参加者と対話を重ねながら課題研究を支援し、成果のアウトプットを通して学びを可視化することで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を促進した。

特別支援教育室では、1年次のニーズ調査を基に作成した学校サポート資料の活用を通して、校内支援体制の充実を図った。管理職や特別支援教育コーディネーター、学級担任の役割に応じた視点を整理し、校内研修や日常的な支援に活用できる体制づくりを支援した。これにより、教職員の共通理解が深まり、チームとして個別最適な学びを支える取組が進展した。

以上の取組を通して、2年次研究では、教師一人一人の主体的な学びを基盤とした授業改善と、組織的な支援体制の強化を一体的に推進した。これにより、学校現場における実践力の向上を図り、子どもたちの学びを支える教育環境の充実につなげることを目指した。

(2) 1年次研究

企画開発室と教育相談室の2室が、学校現場における教職員の学びと児童生徒支援の質的向上を目指し、基礎的調査および教材・研修モデルの開発に取り組んだ。

企画開発室では、「新たな教師の学びの姿」の実現に向け、県内の全公立小・中学校及び県立学校を対象に、校内研修の実態・課題・工夫に関する大規模アンケート調査を実施し、研修時間の確保の困難さ、対話や省察の機会不足、教員の主体的参加意欲の差異などを明らかにした。また、短時間でも省察と対話を促し、教員同士が価値観や学びを共有できる研修デザインの基盤として、価値観共有カード「CoCo Card」や対話型リフレクションシート「IRS」を開発し、各研修に取り入れた。これにより、教員が自身の経験を他者との対話を通じて客観視し、学びの転換を促す研修スタイルの可能性を確認した。

教育相談室では、教育相談に関する教職員の研修受講歴、相談実施状況、必要とする研修内容を把握するためのアンケート調査を実施し、相談の重要性は高い一方で、研修機会が不足していることが明らかとなった。また、短時間で基礎的スキルを学べるオンデマンド動画とハンドアウト型教材の構成を検討し、教職員が自身のペースで学べる「自己研修教材」の開発方針を整理した。これにより、相談スキル向上に向けた柔軟な学習形態の必要性と、実践的内容への強いニーズが把握された。

4 研究成果の還元

本研究の成果については、研究紀要において公表し、本研究における研究成果物は、本センター各種研修講座等で活用するとともに、ホームページでの情報提供等を行う。

また、研究成果を踏まえた、研修事業・教育相談事業・学校支援事業を本センターにおいて実施し、学校教育を総合的に支援することで、研究事業の成果を学校及び教職員へ還元する。

5 研究構想

えがお
愛顔あふれる「教育立県えひめ」の実現

～愛媛の子どもたちのために～

教育基本法第9条

法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

学習指導要領

- ・ 社会に開かれた教育課程の実現
- ・ 育成を目指す資質・能力の明確化
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ・ 学習評価の充実
- ・ 特別な配慮を必要とする児童・生徒への指導
- ・ カリキュラム・マネジメントの確立

「令和の日本型学校教育」を担う教師及び教職員集団の姿

- ・ 変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続ける
- ・ 子供一人一人の学びを最大限に引き出す役割を果たす
- ・ 子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている
- ・ 多様な人材の教育界内外からの確保や、教師の資質・能力の向上により、質の高い教職員集団を実現する
- ・ 教師と事務職員、多様な外部人材や専門スタッフ等とがチームとなり、力を発揮する
- ・ 教師が創造的で魅力ある仕事であることが再認識され、教師自身も志気を高め、誇りを持って働くことができる

教師に共通的に求められる資質・能力の柱

- ① 教職に必要な素養
- ② 学習指導 ③ 生徒指導
- ④ 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応
- ⑤ ICTや情報・教育データの利活用

<研究主題>

未来を切り拓く力を育む
学校教育への総合的な支援

<研究題目>

- 1 ICT活用スキルと授業力の向上につながる教師の主体的な学びの支援－目標設定と振り返りを重視した研修プランの開発を通して－
(2年次研究)
- 2 若手・中堅教員の授業力向上につながる研究実践報告－理論と実践の往還を重視した支援と成果のアウトプットを通して－
(2年次研究)
- 3 特別支援教育の視点に立った個別最適な学びを実現するための校内支援体制づくりに関する研究－ニーズ調査を通じた学校サポート資料の作成－
(2年次研究)
- 4 「新たな教師の学びの姿」を実現する校内研修の在り方－IRSを活用した省察と対話を通して－
(1年次研究)
- 5 教育相談に関する自己研修資料の開発－教職員の基礎的な教育相談スキルの向上に向けて－
(1年次研究)

総合教育センター

[目的]

教育に関する専門的技術的事項の調査研究及び教職員の研修の実施並びに視聴覚センター、特別支援教育センター、幼児教育センター及び県教育支援センターにおける県民への教育情報の提供及び教育相談を実施する。

研 修	研 究	教育相談	学校支援
基礎研修の充実・強化と時代の要請を踏まえた研修の創造・実施	国や県の教育施策との連動と教育現場からの要請への積極的な対応	高度な専門性を生かした、多様な事例への迅速で適切な対応	学校における教育活動全般に関する教職員の取組の支援

愛媛県教育振興に関する大綱（第3期）

- 1 未来を切り拓くたくましい子どもたちの育成
- 2 夢の実現に資する魅力あふれる学校づくり
- 3 一人ひとりを見つめる特別支援教育の充実
- 4 全ての子どもたちの自信を育み、安心して学べる環境の整備
- 5 教職員の働きがいのある魅力的な職場づくり
- 6 社会総がかりで取り組む教育の推進
- 7 スポーツ・文化の振興と生涯学習の推進

愛媛県教育基本方針

- 1 未来を切り拓くたくましい子どもたちの育成
- 2 夢の実現に資する魅力あふれる学校づくり
- 3 一人ひとりを見つめる特別支援教育の充実
- 4 全ての子どもたちの自信を育み、安心して学べる環境の整備
- 5 教職員の働きがいのある魅力的な職場づくり
- 6 社会総がかりで取り組む教育の推進
- 7 スポーツ・文化の振興と生涯学習の推進

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

- ・ 人間力
- ・ 信頼構築力
- ・ 組織力
- ・ 実践的指導力